

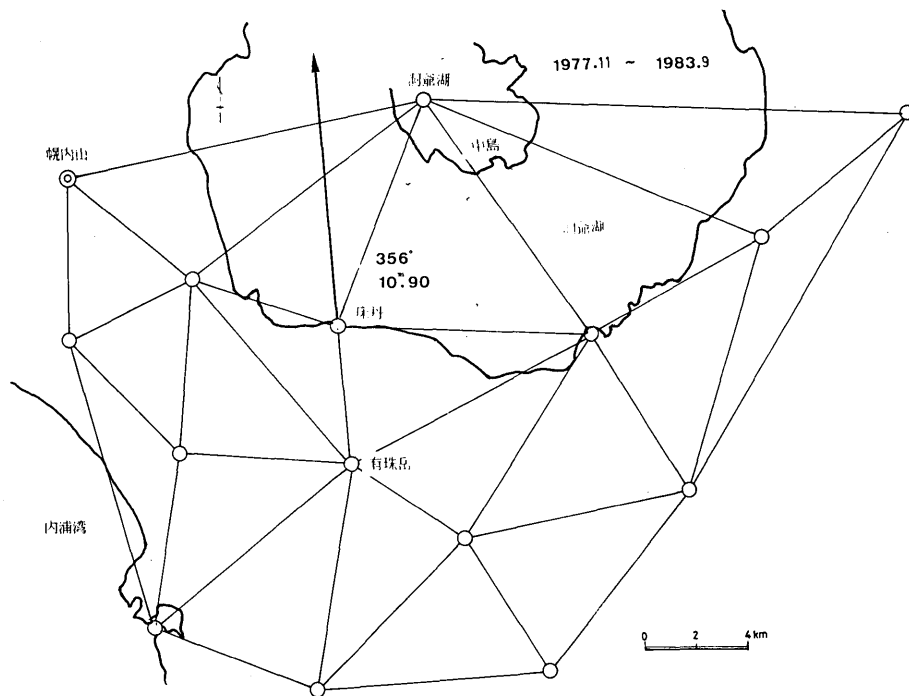
有珠山周辺の水平変動*

国土地理院

1983年9月、第1図に示す測線で有珠山周辺の二次基準点測量を実施し、1977年11月の測量結果と比較した。幌内山を仮不動点とし、そこから洞爺湖の方向を固定して平均計算を行った。その結果、洞爺湖温泉町の測点「床丹」が、第1図に示すように北微西に10.90m移動していることが判った。

1977年8月にはじまった有珠山の噴火に伴い、山頂の付近⁽¹⁾のみならず、山麓においても⁽²⁾外側に押し出される傾向の水平変動が認められたが、今回の結果は有珠山北側山麓に、非常に大きく水平移動した部分があることを示した。

なお、有珠岳(小有珠山頂)の点は、復旧点で変動量は求められていない。その他の辺長については、数cmから10cm内外の変化であった。



第1図 二次基準点「床丹」の水平変動

Fig.1 Horizontal Displacement at the second order control point, Tokotan.

* Received Jul. 20, 1984

参 考 文 献

- 1) 北海道大学理学部附属有珠火山観測所(1984):有珠山の地震活動—活動終息後の概況(1982年~1983年),火山噴火予知連絡会会報, 30, pp114-117.
- 2) 国土地理院(1978):有珠山付近の地殻変動,火山噴火予知連絡会会報, 12, pp19-22.